

兵庫県のり漁場環境情報 (鹿ノ瀬海域 10号)

ユーカンピアの多い状況が続いています。窒素はこの海域東部域で1~2 $\mu\text{g at / L}$ 台、中央から西部域で1 $\mu\text{g at / L}$ 前後の低い値でした。ユーカンピアによる栄養塩の消費と同時に、大阪湾においてスケルトネマを優占とした小型珪藻が大量発生しており、明石海峡周辺海域の窒素が2 $\mu\text{g at / L}$ 前後に減少しこの海域に流入する海水の栄養塩濃度も低下しています。この海域においては特に大阪湾での漁場環境の好転が望まれます。

(水温) 漁場平均10.3℃。

(塩分) 平均31.65psu。1/26同様上げ潮時であり、前回調査値(31.59psu)より0.06psu高い。

(栄養塩、珪藻) この海域全域においてユーカンピアが多い状況。栄養塩の低い西部域では発生量が増加しており、海水1mlあたり150~200細胞であった。東部域でも海水1mlあたり100細胞前後で前回調査並に多く見られる。この海域ではユーカンピアが優占しており、小型珪藻は散見される程度であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.3	10.3	9.2	10.1
窒素	2.3	1.4	2.0	2.0
リン	0.40	0.36	0.38	0.29

(1/26) (2/1)

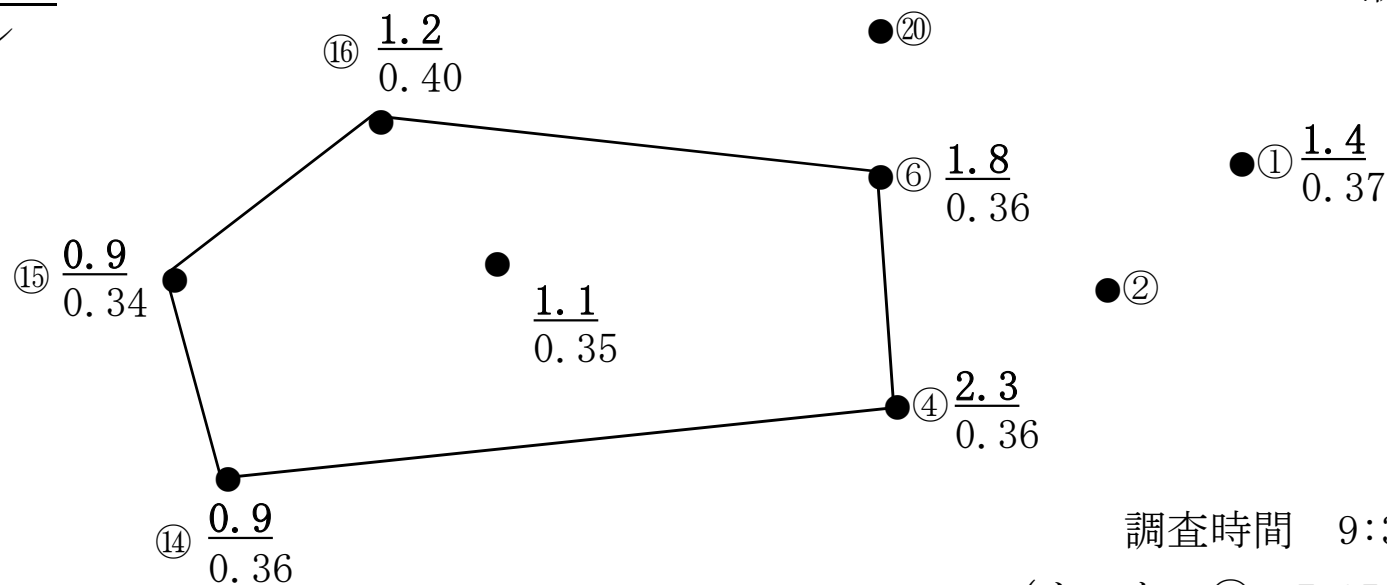
平成29年2月1日調査

栄養塩図

潮：上げ潮

窒素

リン



水温・塩分図

水温

塩分

